

【表紙】

【提出書類】 訂正発行登録書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年 8月30日

【会社名】 大塚ホールディングス株式会社

【英訳名】 Otsuka Holdings Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼CEO 樋口 達夫

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田司町二丁目 9番地
(同所は登記上の所在地であり、実際の業務は下記の最寄りの連絡場所で行っております。)

【電話番号】 03 - 6717 - 1410

【事務連絡者氏名】 財務会計部課長 小清水 裕之

【最寄りの連絡場所】 東京都港区港南二丁目16番 4号 品川グランドセントラルタワー
12階

【電話番号】 03 - 6717 - 1410

【事務連絡者氏名】 財務会計部課長 小清水 裕之

【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】 社債

【発行登録書の提出日】 2023年 5月 8日

【発行登録書の効力発生日】 2023年 5月16日

【発行登録書の有効期限】 2025年 5月15日

【発行登録番号】 5 - 関東 1

【発行予定額又は発行残高の上限】 発行予定額 200,000百万円

【発行可能額】 200,000百万円
(200,000百万円)
(注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額
(下段()書きは、発行価額の総額の合計額)に基づ
き算出しております。

【効力停止期間】 この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、
2024年 8月30日(提出日)です。

【提出理由】 2023年 5月 8日付で提出した発行登録書の記載事項中、「第一
部 証券情報 第 1 募集要項」の記載について訂正を必要とする
ため及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加する
ため、本訂正発行登録書を提出いたします。

【縦覧に供する場所】 大塚ホールディングス株式会社 東京本部
(東京都港区港南二丁目16番 4号 品川グランドセントラルタ
ワー12階)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2番 1号)

【訂正内容】

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

以下に記載するもの以外については、有価証券を募集により取得させるに当たり、その都度「訂正発行登録書」又は「発行登録追補書類」に記載します。

<大塚ホールディングス株式会社第(未定)回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)に関する情報>

1【新規発行社債】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本発行登録の発行予定額のうち、金(未定)円を社債総額とする大塚ホールディングス株式会社第(未定)回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)(以下「本社債」という。)を、下記の概要にて募集する予定です。

各社債の金額：1億円

発行価格：各社債の金額100円につき金100円

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

(訂正前)

未定

(訂正後)

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しています。

引受人の氏名又は名称	住所
野村証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
S M B C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

(注) 元引受契約を締結する金融商品取引業者は上記を予定しておりますが、各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

3【新規発行による手取金の使途】

(1)【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本社債の払込金額の総額(未定)円(発行諸費用の概算額は未定)

(2)【手取金の使途】

(訂正前)

設備資金、借入金返済資金、社債償還資金、コマーシャル・ペーパー償還資金、運転資金及び投融資資金に充当する予定であります。

(訂正後)

設備資金、借入金返済資金、社債償還資金、コマーシャル・ペーパー償還資金、運転資金及び投融資資金に充当する予定であります。

本社債の手取金については、全額を適格クライテリア(後記「募集又は売出しに関する特別記載事項 グリーンボンド・フレームワーク 1. 調達資金の使途」に記載します。)を満たすプロジェクトのための新規支出またはリファイナンスに充当する予定であります。リファイナンスについては調達から遡って2年以内に実施されたプロジェクトを対象とします。

「第一部 証券情報 第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<大塚ホールディングス株式会社第(未定)回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)に関する情報>

グリーンボンドとしての適格性について

当社は、グリーンボンドの発行のために、「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021」(注1)に即したグリーンボンド・フレームワーク(以下「本フレームワーク」という。))を策定しており、適合性についてセカンドオピニオンを株式会社格付投資情報センターより取得しております。

(注1) 「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021」とは、国際資本市場協会(ICMA)により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインです。

グリーンボンド・フレームワーク

1. 調達資金の用途

調達した資金は、当社グループの下記の適格クライテリアを満たすプロジェクトのための新規支出またはリファイナンスに充当します。リファイナンスについては調達から遡って2年以内実施されたプロジェクトを対象とします。

ICMAグリーンカテゴリー	適格クライテリア
再生可能エネルギー	再生可能エネルギー(太陽光・風力・バイオマス*)発電における設備投資 ・土地の取得、賃貸 ・施設建設や拡張、設備購入・設置 ・運営、保守・管理 蓄電池の導入、更新 再生可能エネルギー由来の電力購入、グリーン電力証書の購入
エネルギー効率(設備)	エネルギー高効率機器の導入、更新。なお、CO2排出削減に資する利用可能な最良の設備を導入するものに限る ・製品製造設備 ・ユーティリティ設備全般 ・LED照明など
環境適応製品、環境に配慮した生産技術およびプロセス	電化設備における設備投資。なお、CO2排出削減に資する利用可能な最良の設備を導入するものに限る ・化石燃料を使用する製品製造設備の入替え プラスチック容器・包装の軽量化に資する容器製造設備における設備投資 リサイクルPET樹脂の調達 RSP0認証パーム油の調達 FSC認証・PEFC認証および当社ガイドラインに適合する原料を使用した紙の調達(製品の包装に使用するものに限る)
グリーンビルディング	下記いずれかの認証を調達から遡って36ヶ月以内に取得・更新、もしくは今後取得予定の建物の建設・取得 ・CASBEE:S、A ・DBJ Green Building認証:5つ星、4つ星、3つ星 ・LEED:Platinum、Gold、Silver
エネルギー効率(建物)	建物用途ごとに定められたZEB Oriented基準以上のBEIを満たす(予定を含む)建物の建設・取得

* バイオマス発電は、燃料が下記の、 を満たすプロジェクトを対象とします。

いずれも工場などの周辺で調達された()廃棄物、()未利用材、()持続可能性に係る認定や認証を取得した燃料(FSCにより認証された木材・木材ペレット由来など)等に限ること
 ライフサイクルベースでCO2排出量の削減効果があることを確認できる燃料を使用すること

2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

調達資金を充当するプロジェクトは、当社グループの『2050年環境ビジョン「ネットゼロ」』の目標に沿った効率的で実効性の高い環境活動から、適格クライテリアへの適合状況について財務会計部およびサステナビリティ推進部による協議の上、選定します。最終決定は、取締役会によって行います。

また充当プロジェクトの選定にあたっては、当社グループのサステナビリティミッションとの整合性を確認し、以下の環境・社会的リスクに配慮した対応を実施していることを確認します。

- ・ 国もしくは事業実施の所在地の地方自治体にて求められる環境関連法令等の遵守と、必要に応じた環境への影響調査の実施
- ・ 事業実施にあたり地域住民への十分な説明の実施
- ・ 「大塚グループ・グローバル行動規準」「大塚グループ環境方針」「大塚グループ人権方針」「大塚グループ調達方針」「大塚グループサステナブル調達ガイドライン」などに沿ったバリューチェーンのすべての段階における品質の追求と、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」への配慮の実施

3. 調達資金の管理

調達した残高は、当社の財務会計部が適格プロジェクトへの充当および管理を行います。なお、本フレームワークにて調達された同額が適格プロジェクトに充当されるよう、年次で社内データベースを用いて、追跡、管理します。調達資金が適格プロジェクトに充当されるまでの間は、現金または現金同等物にて運用します。

4. レポートニング

当社は適格プロジェクトへの充当状況ならびに環境への効果を年次にて当社ウェブサイト、統合報告書のいずれかまたは両方にて報告します。

4.1 資金充当状況レポートニング

調達した資金が全額充当されるまでの間、年次にて充当状況に関する以下の項目について、実務上可能な範囲でレポートニングする予定です。

- ・ カテゴリーごとの充当額と未充当額
- ・ 未充当額がある場合は、充当予定時期、および未充当期間の運用方法
- ・ 新規支出とリファイナンスの割合

なお、調達資金が充当された後に大きな資金状況の変化が生じた場合は、適時に開示します。

4.2 インパクトレポート

調達した資金の充当が完了するまで、適格プロジェクトによる環境への効果に関する以下いずれかまたは複数の項目について、年次にて実務上可能な範囲でレポートする予定です。また、大きな状況の変化が生じた場合は、適時に開示します。

ICMAグリーンカテゴリー	インパクトレポート(例)
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト概要 ・エネルギー種別ごとの年間発電容量とCO2排出削減量 ・蓄電可能容量 ・再生可能エネルギー由来の購入電力量、グリーン電力証書購入電力量
エネルギー効率(設備)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト概要 ・年間CO2排出削減量
環境適応製品、環境に配慮した生産技術およびプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの概要 ・年間CO2排出削減量 ・容器のプラスチック使用削減量 ・リサイクルPET樹脂購入量もしくは使用率 ・RSP0パーム油購入量もしくは使用率 ・認証紙等の概要と、概要ごとの購入量もしくは使用率
グリーンビルディング	<ul style="list-style-type: none"> ・建物概要 ・取得認証の種類とランク ・年間エネルギー使用削減量もしくは削減率(BEI) ・年間CO2排出削減量
エネルギー効率(建物)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物概要 ・年間エネルギー使用削減量もしくは削減率(BEI) ・BELS評価を取得する場合は、評価手法基準年度と取得ランク ・年間CO2排出削減量